

## 展示委員会

展示委員会は、JIRA の中核である展示事業において、事務局と連携の上、画像医療システム産業の発展に貢献する展示会の企画を立案し、円滑な展示会運営を推進する。

2026 年度の活動としては、リアル展示の価値・魅力の最大化を狙い、より多くの来場者の方に、出展社の最新製品やソリューションを体感・実感いただける展示会を目指す。ITEM2026、核医学会学術総会併設展示会において、出展社・来場者が参加し易く、且つ、より有用な展示会となることを目指して以下の施策を実行していく。

- 近年のリアル展示を強化してきた経験を踏まえ、効果が出ている現行企画を継続・成長させ、来場者にとってより魅力のある展示会を実現させる
  - ◆ さらなるリアル展示の価値を高めるため、展示会参加者の利便性を高めていく
- 情報デジタル化を進めている中、現状の情報プラットフォームを改善し、更なる利便性向上を目指す
  - ◆ 出展社の作業容易化をさらに進める
- コンプライアンスの徹底、薬機法及び個人情報保護法、展示要項を順守し、労災事故防止等、安全な展示会運営を行う
- 大企業から中小企業の出展各社が、公平且つ効果のある参加が出来るように努める
- 将来の為に他業種 Web 展示会のノウハウを取得する

### 1. 展示会の運営及び企画・準備

- 全体方針
  - 「体感・実感 ITEM2026 ～Radiology Connectome の現場へ～」
    - ◇ 来場者と出展社が効率的につながる場を提供し、放射線技術の今と未来を体感し実感できる展示会を企画・運営する。
    - ◇ JIRA 企画(ステージ・パネル・スタンプラリー) や IT システム強化によりリアル展示をより充実させる
    - ◇ リアル展示と密に連動した ITEM-WEB により ITEM 全体の価値・利便性を向上させる
- ITEM2026 (パシフィコ横浜展示) : 4 月 17 日～19 日
  - 出展申込&情報登録システム
    - ◇ 申し込み～出展情報登録～請求までのワンストップサービスシステムを改良し、使い勝手・効率の良い申し込み処理へ改善進める
  - JIRA ステージ&特定テーマパネル展示
    - ◇ 特定テーマ: 「AI」、「DX」、「医療安全」、「最新技術情報」の 4 テーマを増やし、充実したステージと常設パネル展示を目指す
  - スタンプラリー
    - ◇ 来場者がより多くのブースを訪れるきっかけをつくり、参加企業ブースへの誘引を促進。SCAI を活用したデジタルスタンプラリーとし効率化を図る
  - ITEM-WEB
    - ◇ UI のスマホ最適化を進めると共に、リアル展示サポート強化を目指し、e ブースマップの使い勝手・機能強化を図る。
  - ブースレポート
    - ◇ リアル会場での出展社ブースレポート提供を行う
  - ブース来場者情報提供システム SCAI
    - ◇ ITEM2025 での利用結果アンケートに基づき、機能・使い勝手の改善をはかる
  - ITEM ツアー企画のサポート
    - ◇ JRC によるテーマ (モダリティ、分野別等) に沿ったブース視察ツアー
    - ◇ JIRA 会員企業向け若手社員研修ツアー (関連産業振興委員会主催)
  - 展示期間中 (設営、開催、撤収) の運営の安全対策強化
    - ◇ 開催期間中の作業安全の啓発、巡回による事故防止の徹底

◇ 展示会場入場口混雑時の安全確保

- 第 66 回日本核医学会学術総会/第 46 回日本核医学技術学会総会学術大会併設展示会（アクリエひめじ、2026 年 11 月 19 日～21 日）の開催、運営
- 国際医用画像総合展：ITEM2027 の企画準備
- 第 67 回日本核医学会学術総会/第 47 回日本核医学技術学会総会学術大会併設展示会の準備

## 2. 展示関連の課題について、解決・改善を図る

- ◆ リアル展示の魅力をより加速させていく
- ◆ 出展各社が公平、且つ効果が見込める展示会となるように努める
- ◆ 来場者情報のデジタル化による展示会来場者の情報取得サービスの拡大・改善を進める
- ◆ JRC 合同実行委員会に対し、より良い展示会開催を目指して提言を行う
- ◆ IT 系スタートアップ企業や中小企業などに ITEM 参画を誘致するために、魅力のある展示会企画を検討する

以上、ITEM2026、核医学会の展示会を実施し、その後の課題について、展示委員会で改善を図り、参加企業にとって、より有益な展示会として成長させる。